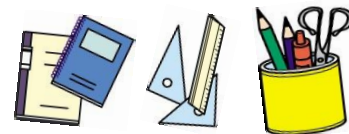


今年度 第1回目の土曜授業



本日は今年初めての土曜授業でした。当初は5月15日に第1回目を予定していましたが、「緊急事態宣言」の延長で中止になりました。土曜授業の趣旨の1つに、保護者や地域の方々に学校を公開し、共に取組（防災訓練など）を行っていくということがあります。今回の土曜授業は単に緊急事態宣言で短縮された授業時間を補填するものとして実施しました。特に期末テスト前の授業はなかなか貴重なものです。これまでのおさらいやテストのポイントなどが確認されたりします。生徒の皆さんも週の6日目で、雨天ということもあり、かなり疲れが見えましたが、それぞれにしっかり頑張っていました。明日の休日をうまく活用し、体調管理をしっかりして来週からの期末テストに備えていきましょう。

全校集会に代えて

大阪は明日で「緊急事態宣言」が解除になり「まん延防止等重点措置」へ移行される予定です。これまで密になることから全校で集まる機会がありませんでしたが、来週月曜日の朝の全校集会から再開したいと思います。6月から3週間にわたって本校で実習してきた教育実習生の皆さんの最後の挨拶も行う予定ですので楽しみにしてください。

ところで、皆さんは、「伝統工芸士」という称号を知っていますか。文字通り日本の伝統工芸の技を極めた人が国から認定される称号です。その伝統工芸士に認定された博多人形師のお話です。この道55年。人形作りの全工程を1人で行うそうです。粘土をこね、形を作り、窯で焼き、色付けをする。まるで命を吹き込むように真剣に、丁寧に、一つ一つ作業を積み重ねていきます。「どんな小さな作業も手抜きは禁物。必ず付が回ってくるから」と常に自分を戒めているそうです。「やっぱり下積みが長い人の方が息長く活躍する。短期間でパッと人気が出た人は、いつの間にか消えてしまうことが多い。うんと苦労した人が、最後は輝くものです。」多くの工芸士たちを見てきた実感をこう語っていました。

成功に近道はありません。「地道に実践を積み重ねること」それが勝利への王道といえます。中国に「無用の用」という格言があります。一見、役に立たないと思えるものが実際には大きな役割を果たすとの意味です。長い目で見れば、苦労は財産になります。人生に無駄はありません。今のテスト勉強も期末テストのためにしているかもしれませんが、テスト後も、どこかできっと役に立っていきます。テストで高得点をとるという身近な目標と、将来、役に立てていくという大きな目標をもって来週の学校生活に励んでください。